

会議の名称	平成30年度 第1回 加須市歯科保健推進協議会	
開催日時	平成30年7月24日(火) 開会/13時 閉会/13時45分	
開催場所	加須保健センター2階 集団指導室	
議長氏名	伊藤正樹会長	
出席委員 (敬称略)	伊藤正樹、増田幸樹、鈴木克好、野本幸弘、福島祐一、加藤正子、中村鈴子	
欠席委員 (敬称略)	肥田有紀子	
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1)平成29年度加須市歯と口の健康づくり基本計画の進捗状況等について (2)その他 4 閉会	
会議資料の名称	次第資料 「加須市歯と口の健康づくり基本計画の進捗状況等」【平成29年度の実績と評価】	
会議の公開又は非公開の別	公開	
非公開の理由		
傍聴者の数	2人	
説明者の職・氏名 (敬称略)	健康医療部参事兼健康づくり推進課長 こども局保育幼稚園主査 学校教育部学校教育課長	橋本 敬之 川島 正貴 藤間 隆子
事務局職員の職・氏名	健康医療部長 健康医療部参事兼健康づくり推進課長 健康医療部健康づくり推進課主幹 健康医療部健康づくり推進課主査 健康医療部健康づくり推進課主任	細田 悟 橋本 敬之 尾島 篤 宮元 由紀絵 戸塚 紀子
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録	
その他必要な事項	なし	

発言者	審議内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
健康づくり推進課 尾島主幹	【開会】 肥田委員は公務のため、欠席との連絡が入っています。
	【委嘱状交付】 中村令子委員へ大橋市長から委嘱状を交付
大橋市長	<p>【市長あいさつ】</p> <p>本日は、平成 30 年度第 1 回加須市歯科保健推進協議会の開催を御案内申し上げましたところ、伊藤会長をはじめ委員の皆様にはお忙しい中、また酷暑が続く中御出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>日ごろ皆様方には市民の健康増進のために御尽力いただいていることにつきまして、厚くお礼を申し上げます。</p> <p>さて、この歯科保健推進協議会は歯科医の先生方をはじめ口腔関係者のみなさまを委員として御協議をいただき、そして市として口腔の健康の推進を図っているものでございます。</p> <p>本日は、平成 29 年度における歯と口腔の関係でどの程度事業が行われていたのか、それを評価するとどんな状況なのかも含め事務局から説明申し上げ、皆さまの御意見を頂戴し、それを活かしながらさらに仕事のレベルアップや充実を図っていきたくと考えておりますので、適切な御指摘をいただければと思っております。</p> <p>また学校歯科保健の分野ですが、毎年小・中学校歯科保健コンクールがあり、羽生市は全国優勝や準優勝をもらっています。加須市は羽生市の少し下の順位になりますので、いつか羽生市に「追いつき、追い越せ」ば、学校歯科分野において加須市がトップクラスになります。</p> <p>生きる上で大事な「食べる」行為の第一関門が「歯」でございますので、市民の皆様にも歯の大切さを御理解いただき、子どもの時から歯の健康に注意していくことが大事なのだらうと思っております。</p>
	(市長、公務のため退席)
伊藤会長	<p>【会長あいさつ】</p> <p>4 年前に加須市歯と口の健康づくり条例が制定され、各ライフステージにわたって事業が行われておりますが、この 4 年間で既に見直しや廃止となった事業もあります。効率の悪い事業など、どんどん見直していかなければならないと思っております。歯と口の健康づくりは全身の健康づくりや、健康寿命の延伸にもつながると考えておりますので、皆様のご意見・アイデアを頂戴し、事業をより良いものにしていきたいと思っております。この暑さに負けない、熱い活発な御協議をよろしくお願ひします。</p>
健康づくり推進課 尾島主幹	加須市歯科保健推進協議会設置要綱第 6 条第 1 項の規定により、伊藤会長を議長とし議事進行をお願いします。
伊藤会長	<p>【議事】</p> <p>議題(1)「平成 29 年度加須市歯と口の健康づくり基本計画の進捗状況等について」事務局から説明をお願いします。</p>
健康づくり推進課 橋本課長	<p>(資料により平成 29 年度加須市歯と口の健康づくり基本計画の進捗状況等について説明)</p> <p>加須市の歯科保健事業の進捗状況は、全体として概ね順調に進んでいます。</p> <p>「1 出生前期」は、平成 29 年度よりプレママデンタルクラスを廃止し成人歯科検診を推進していくこととなり、指標が変更となっております。母子健康手帳交付時に成人歯科検診のご案内を渡しておりますが、そこに受診時期の目安を記載しております。しかし、あくまで目安であり検診は体調がいい時に受けられるので、今後はそのことを書き添えて、案内をしていきたいと思っております。</p> <p>「2 乳幼児期」では、フッ素塗布を受ける子どもの数が減少しておりますが、これは公立幼稚園 3 年保育化の影響が大きいと考えております。</p>

	<p>「3 学童期」は、概ね目標を達成しています。</p> <p>「4 成人期・高齢期」では、成人歯科検診受診者が平成 28 年度より増えたものの、受診者数が伸び悩んでいます。</p> <p>「5 障がい者・要介護者」は、実施の場を確保するのが難しいのが現状です。</p> <p>また、歯科医師会の御協力により、ゴールデンウィークと年末年始に特別休日歯科診療を実施しております。この場を借りまして感謝を申し上げます。いざという時に歯科医院が開いているという安心感が得られるとの声をいただいておりますので、今後も引き続き事業を実施していきたいと存じます。引き続き、御協力をよろしく願います。</p> <p>以上事務局からの説明になります。</p>
伊藤会長	何か御意見、御質疑ありましたらお願いします。
増田副会長	目標値の設定基準を教えてください。例えば、成人歯科検診受診者 450 人は、対象者から考えると設定基準を推測できます。しかし、3 歳児のむし歯のない者の割合や 12 歳児の一人平均むし歯数ほどのように設定されているのでしょうか。埼玉県や全国の平均値なのか、それとも新たに加須市で決めた目標値であるのでしょうか。
健康づくり推進課 戸塚	3 歳児のむし歯のない者の割合につきましては、埼玉県で定めております計画の数値に則った指標になっております。
学校教育課 藤間課長	12 歳児の一人平均むし歯数につきましても、県の指標に合わせて定めております。
増田副会長	<p>一人平均むし歯数は、全国平均と埼玉県平均はあまり差がありません。県ごとにみますと、愛知・東京・千葉・神奈川など都市部ではむし歯の本数は少なく、青森・沖縄など農村部ではむし歯の本数が多い傾向がみられます。埼玉は都市部と農村部の中間であること、全国平均と埼玉県平均はあまり差がないことから考えても、埼玉県平均の数字を指標にしているのではと思います。</p> <p>3 歳児のむし歯のない者の目標値は、全国平均と差がなく、また、だんだんと目標値が上がる設定になっているのでこのままでいいと思います。</p> <p>しかし、12 歳児の一人平均むし歯数や 12 歳児のむし歯のない者の割合は、10 年ぐらいで全国平均も埼玉県平均も少しずつ上がっていることから、12 歳児の目標値も上げていくと数字的にわかりやすく、実態に沿っているのではないかと思います。</p>
伊藤会長	妊婦保健事業についてお尋ねします。成人歯科検診の対象は 20 歳以上となっておりますが、妊婦に関しては未成年も受けられるということでした。そこで、この成人歯科検診を受けた妊婦の人数のうち、未成年の方がいるのか。また、いるのであれば何人含まれているか教えてください。
健康づくり推進課 戸塚	平成 29 年度成人歯科検診につきましては、妊婦に関しても 20 歳以上の方が対象となっておりますことから、その数に未成年は含まれておりません。平成 30 年度から妊婦であれば 20 歳未満も対象となりましたので、次回の会議にて妊婦のうち未成年者の受診者数につきまして報告したいと思います。
伊藤会長	今年度から対象に未成年妊婦も含まれ、実績報告は次年度となること承知しました。
伊藤会長	その他、何か御意見、御質疑ありましたらお願いします。
	(意見なし)
伊藤会長	今後は委員の皆様からの御意見を踏まえて、市の事業に生かさせていただきますようお願いいたします。

伊藤会長	それでは議題(2)その他についてお願いします。
野本委員	学校教育課に学校歯科検診の回数についてお伺いします。基本的には春と秋の年2回行ないますが、学校によっては年に1回のところがあると伺ったことがあります。学校教育課の考えを教えてください。
学校教育課 藤間課長	私は昨年度まで加須平成中に勤務しており、そこでは年2回歯科検診をやっておりました。他の学校の検診回数につきまして、確認したいと思います。
野本委員	市としては年2回歯科検診を行うという方向でいいのでしょうか。
学校教育課 藤間課長	はい。 検診回数は多い方がいいと思いますが、年2回でお願いできればと思います。
野本委員	わかりました。 もう1つお尋ねします。歯科医師会で県の小児う蝕予防事業としてフッ素洗口実施の委託を受け、市内の小・中学校にフッ素洗口について説明に行ったことがあります。フッ素洗口実施について市としてどう考えているのでしょうか。
学校教育課 藤間課長	今のところフッ素塗布のみの実施で考えております。
野本委員	市としては今のところフッ素洗口はやらないということですね。
学校教育課 藤間課長	はい。
増田副会長	フッ素洗口につきまして、少し意見を述べさせていただきます。先ほど市長の話でも出ていた羽生市の学校歯科保健ですが、優秀な成績を収めている理由は、フッ素洗口並びに歯科保健活動を重点的に行っているからということでした。その結果、埼玉県でトップ、全国でも指折りの成績を収めていることから、むし歯の本数を減らすにはフッ素洗口は非常に有効な方法であると思います。羽生市を抜いて、健康になるうというのであれば、フッ素洗口を取り入れる協議が必要になるのではないかと思います。 ちなみに新潟県は、フッ素洗口を早くから積極的に取り組んでおります。12歳児一人平均むし歯指数が全国0.84本、新潟県は0.4本というところで17年間連続して新潟県がトップです。やはりフッ素洗口を積極的に進めている結果の現れということで参考にさせていただきたいと思います。
鈴木委員	フッ素洗口の関係で、フッ素塗布について質問です。合併する前は、幼稚園と小学校でやっていましたが、合併後では小学校だけとなり、回数が減っていると思います。フッ素洗口をしないのであれば、フッ素塗布を合併前と同じ回数実施するというのもむし歯予防に対して手段の一つであると思い、意見を述べさせていただきました。
伊藤会長	ほかに何か御意見ございますか。
伊藤会長	事務局から連絡がありますか。

健康づくり推進課 橋本課長	事務局から1点ございます。次回の協議会は、次年度開催になります。時期は、今年度同様7月から8月を予定しております。内容につきましては、平成30年度加須市歯と口の健康づくり基本計画の実績報告状況等について考えております。
伊藤会長	今日のすべての議題についての御意見があればお願いします。
	(意見なし)
伊藤会長	予定されていた議題は終了となります。 以上をもちまして議事を終了し、議長の任を解かせていただきます。
副市長	<p><b>【副市長あいさつ】</b></p> <p>委員の皆様には、非常に効率的かつ真剣な御審議ありがとうございました。せっかくの機会ですので2点お話しさせていただきます。</p> <p>1点目は、加須市では市民の健康を作り守るため、健康づくり推進計画を作り様々な事業に取り組んでいます。この計画には7つの柱、病気の予防、食育、運動、休養、アルコールたばこ、地域医療、歯と口の健康、それぞれの取り組みをしています。7つの取り組みの中で唯一、歯と口の健康だけ、それに特化した計画を作っており、これがみなさんのお手元にあるものです。この計画につきまして、指標の見直しや、数値の見直しなど本日のご意見を踏まえて更なる進化をさせたいと感じました。</p> <p>2点目は、政策の基本となる人口の推移についてお話します。生まれた子どもに対し、新小1が約100人多くなっています。他で生まれて転入してくる子が100人であり、転入の理由は子育て環境がまずまずで、乳幼児医療は以前から無料であり、また歯科も含め乳幼児健診なども充実しているからのようです。</p>
増田副会長	<b>【閉会】</b>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>平成30年8月31日</p> <p>署名 <u>          </u> 会長 <u>          </u> 伊藤 正樹 <u>          </u></p> <p>※原本は事務局で保管しています。</p>	